



## 量を読む

岡本 浩一

高校二年まで日本で学んだ後、アメリカの高校に留学した。1974 年だったが、そのとき驚いたのは、アメリカの高校が内容的には「何も教えていない」に等しい状態だったことだ。ヨーロッパからの高校留学生も同様の印象を持ったようだ。このとき高校生だった世代のアメリカ人が、ITなどで世界を牽引しているのはどうしてだろうと考えることがある。

ひとつ明瞭だったのは、アメリカの高校が当時から、「量を読ませる」ことを重視していたことだ。アメリカの学校は、毎日同じ時間割を週五日繰り返す。その一日ごとに、家で読む文献が細かく指定されていて、翌日の授業はそれが前提となる。それを「リーディング・アサインメント」というが、私の場合、夕食後から就寝までに読まなければならない量がだいたい 250 ページくらいだったと記憶している。ピクニックに誘われたり、ダンスパーティに誘われても、どうリーディング・アサインメントをやりくりするかをまず考えるという生活だった。

アメリカの大学は、入学者は大雑把に決めて、一年次の間に「C」3つか「F」1つで退学勧告というのが相場だったから、高校生は、SAT テストの点が高くとも、実力相応の大学を選ぼうとする。その判断の目安が読む速度で、いろんな案内記事には、「スタンフォード大学なら、少なくとも 550 語/分」というような記述があったものだ。考えてみれば、リーディング・アサインメントに追いつけなければ、平常点中心の評価では落ちこぼれになるに決まっているわけだから、ひとつの合理的な理屈である。いまでも、たとえば、「ハーバードのビジネススクールは、700 語/分読めてもきつい」などという言い方を耳にする。



1990 年代に、オレゴン大学にフルブライト助教授として滞在したときも、その大学院生の読む量の凄まじさには驚いたものだ。読むことがすでに競争なのである。

結果的には、「量を読ませ、量を書かせる」教育が世界を牽引する層を育てたのだと思う。近年では、ヨーロッパの教育も、その方向を強めている。受験の負担軽減を名目に、高校の教科書を薄いものにして涼しい顔をしているのは、日本の学校だけである。

いまからでも、せめて、量を読むこと、速く読むことを強調する教育に転換する必要があると考えている。

日本の若者の多くが携帯メールに多くの時間を費やしている。それに比例して、読書量が減っている。このような現象は、欧米ではそれほど顕著でない。理由のひとつは、若者の依存性の高さだが、もうひとつは、読む充実感を若い時期に体験していないことであろうと思う。携帯メールを禁止しなくとも、読む要求を強めれば、自然に是正も期待できるのである。

(おかもと こういち：人間科学部教授、図書館長)

\*\*\*\*\*

## 今期の展示ケース



### 『参考図書って何だろう?』

～ネットだけじゃない! 調べるツール～

「参考図書」と聞いて、皆さんはどんなイメージを持たれますか? 「学習参考書のこと?」  
「どういふものだからぴんとこない」という方も多いのではないのでしょうか。

今回の展示では日々の勉強に役立つものから、見た目にも楽しい、また読み物としても面白い、ちょっと変わった視点で編纂された事典などを紹介しています。途中一部展示資料の入れ替えも行います。是非ご覧ください。

~~~~~

## 学生による購入希望：この5年

図書館では2010年度(試験的には2009年度)に、図書購入依頼の方法を申込用紙に記入する方法からオンラインによる方法に切り替えました。この方法も今年度から4年目に入りますが、参考までに大学図書館における学部生からの依頼実績を調べてみました。

下表①は過去5年間のもので、書店に発注する前に重複調査を行い、また収書基準に照らして問題がないと判断して購入した数です。なお2010年度以降の3年間は学科により発足、募集停止などがありましたので単純な比較はできませんが、図書購入申し込みを行った学生は年間平均実質53人、依頼冊数は一人当たり平均約4冊でした。従来の申込用紙よりもオンラインの方がより申し込みやすくなったことの表れでしょうか、2010年度からは一人あたりの依頼冊数は増加傾向にあります。但し時に一人で多数依頼するケースもあり、表には現れませんが同じ学生が年間を通じて2度、3度とリクエストするケースが多くみられました。実質的な年間依頼者数は、申込方法が変わっても5年間であまり変化が生じていません。

下表②は分野別のベスト・スリーを過去3年間遡ったものです。人気の小説を中心に文学が一位、次いで学習に必要な資料を中心に社会科学、その他の分野となりました。

① 学生希望図書購入件数 ※受付前キャンセルを除く。人数は延べでなく実質。

| 年度   | 人間科学 |    |     | 人間福祉 |    |     | 保育子ども |   |     | 国際社会 |    |     | 国際コミュ |   |      | 計   |    |     |
|------|------|----|-----|------|----|-----|-------|---|-----|------|----|-----|-------|---|------|-----|----|-----|
|      | 冊    | 人  | 冊/人 | 冊    | 人  | 冊/人 | 冊     | 人 | 冊/人 | 冊    | 人  | 冊/人 | 冊     | 人 | 冊/人  | 冊   | 人  | 冊/人 |
| 2008 | 28   | 12 | 2.3 | 35   | 14 | 2.5 |       |   |     | 73   | 19 | 3.8 |       |   |      | 136 | 45 | 3.0 |
| 2009 | 80   | 28 | 2.9 | 53   | 13 | 4.1 |       |   |     | 53   | 23 | 2.3 |       |   |      | 188 | 64 | 3.0 |
| 2010 | 64   | 20 | 3.2 | 89   | 10 | 8.9 | 16    | 4 | 4.0 | 73   | 27 | 2.7 | 12    | 3 | 4.0  | 254 | 64 | 4.0 |
| 2011 | 127  | 22 | 5.8 | 18   | 3  | 6.0 | 2     | 1 | 2.0 | 33   | 13 | 2.5 | 22    | 4 | 5.5  | 202 | 43 | 4.8 |
| 2012 | 89   | 19 | 4.7 | 5    | 1  | 5.0 | 11    | 4 | 2.8 | 48   | 17 | 2.8 | 113   | 9 | 12.6 | 266 | 49 | 4.7 |

② 学科別上位3位までの分野

| 順位   | 人間科学 |      |      | 人間福祉 |    |      | 保育子ども |      |      | 国際社会 |      |    | 国際コミュ |      |    | 計  |      |    |
|------|------|------|------|------|----|------|-------|------|------|------|------|----|-------|------|----|----|------|----|
|      | 1    | 2    | 3    | 1    | 2  | 3    | 1     | 2    | 3    | 1    | 2    | 3  | 1     | 2    | 3  | 1  | 2    | 3  |
| 2010 | 文学   | 社会科学 | 芸術   | 社会科学 | 文学 | 自然科学 | 芸術    | 文学   | 社会科学 | 文学   | 社会科学 | 言語 | 文学    | 社会科学 |    | 文学 | 社会科学 | 芸術 |
| 2011 | 文学   | 社会科学 | 自然科学 | 社会科学 | 文学 | 哲学   | 文学    |      |      | 文学   | 社会科学 | 芸術 | 哲学    | 言語   | 歴史 | 文学 | 社会科学 | 哲学 |
| 2012 | 文学   | 自然科学 | 社会科学 | 社会科学 |    |      | 文学    | 社会科学 | 自然科学 | 社会科学 | 総記   | 産業 | 言語    | 文学   | 哲学 | 文学 | 社会科学 | 哲学 |

注：国際コミュ＝国際コミュニケーション

図書館では学生生活をより豊かに過ごしてもらえよう心がけて選書を行っていますが、もしご希望の資料が所蔵されていない場合には、どうぞ「マイライブラリ」からリクエストをお寄せください。

<オンライン図書購入依頼方法>



図書館ホームページのメニューからダイレクトに、または OPAC（蔵書検索）の画面右上の「マイライブラリ」をクリック ⇒ ID とパスワード（WebCampus と同じ）でログイン ⇒ 操作メニュー：依頼 ⇒ 図書館への購入依頼  
(注意)

- ①一人当たりの金額、冊数は特に制限はありませんが、一度に多数の申し込みがあった場合はご相談させていただきます。
- ②購入の可否は「マイライブラリ」に表示されます。
- ③購入決定したものには予約がかかります。
- ④利用できるまでには申し込み後早ければ10日程度、通常2週間～1か月です。

(担当：受入係)

お気づきですか？

図書館からのお知らせ

2013年度より

### 1. 開館時間が早くなりました！

8:50 開館 (授業のない時は9時)

ご要望にお応えし、9時だった開館時間を8時50分に変更しました。朝、授業の始まる前にもお立ちより頂けます。なお閉館時間はこれまで通り、午後8時です(授業のない時は午後5時までです)。



### 2. 生涯学習センター受講生・卒業生・修了生の貸出規則が変わりました！

5冊、2週間 ← 2冊、1週間 (従来) ゆとりを持って利用できます。

### 3. データベースに変更・追加がありました！

#### ・メディカルオンライン (新規)

国内の医学、看護学、栄養学、自然科学などの学会・学術雑誌記事検索ができます。

※JDreamII は契約終了しました。

#### ・毎日新聞のデータベースが「毎索 (マイサク)」になりました。

従来の「ニュースパック」より使い勝手もよく創刊号からの検索が可能です。

・読売新聞のデータベース「ヨミダス文書館」の同時アクセス数が1から2になりました。

### 4. 雑誌利用調査、5月末まで行っています！

雑誌を利用した時に、雑誌架に備え付けられた鉛筆で線を記入していただくだけの簡単なものです。ご協力をお願い致します。

### 5. 1F 雑誌展示架後方に新しい掲示板が置かれました！

新着 CD 及び DVD の紹介や新着雑誌からのトピックスをお知らせしています。

#### 編集後記

図書館1階カウンター前にあった目録カードケースの一群が、先日長い間の役目を終えて図書館から運び出されました。今でこそ蔵書検索といえば端末で行うのが常識ですが、以前は目録カードと言われるカードで調べていたのです。さて広々としたスペースに、今後何が登場するのでしょうか。楽しみに！

(編集担当：宮田)